

## 情報システム学会研究会設置申請

2024年2月25日

1. 研究会名

官公庁4.0研究会

2. 研究テーマ

人間中心を大前提とし、人間のためにITを活かし切るという考えに基づき、情報システム学の視点でこれからの官公庁のあるべき姿をデザインする

3. 主査（氏名、所属、連絡先メールアドレス）

岩崎和隆（神奈川県庁 gisr.iwasakikazutaka【atmark】gmail.com）

4. 幹事（氏名、所属、連絡先メールアドレス）

渡辺幸三（有限会社ディービーコンセプト代表 qyf05466【atmark】nifty.com）

5. 研究テーマ設置の趣旨

ITを活かし切るという視点で、官公庁のあり方を全面的にデザインしなおす。現時点でデザインしなおすことを想定しているものは、次のとおり。

- （1）国民・住民に提供するサービス
- （2）国と自治体の役割分担の見直し
- （3）民主主義の強化
- （4）国民・住民の参加意識の変革
- （5）システム調達改革

なお、官公庁4.0と名付けたのは、次の表1のような認識による。

表1 明治以降の官公庁の歴史

バージョン	時期	出来事、説明
1.0	明治～戦前	
2.0	戦中・戦後～2000年ごろ	1940年 所得税源泉徴収制度の開始 1942年 厚生年金保険制度の前身の労働者年金保険制度の開始 1947年 労働基準法施行
3.0	2000年ごろ～現在	2000年 地方分権一括法施行 2001年 eJapan 戦略策定
4.0	これから	・ITのポテンシャルを活かし切り、国民、住民の利便性を最大化しつつ、人口減少社会に備え、より少ない職員数で官公庁の業務を行えるようにするなど ・ITを活用した民主主義の拡充

6. 主たる活動場所

オンライン。時々は対面とするが、場所は未定

7. 活動計画（概要）

2、3か月に1回（年4～6回）開催

(1) 1年目（2024年度）

主査、幹事や招待者の講演をもとに検討

(2) 2年目（2025年度）

引き続き、主査、幹事や招待者の講演をもとに検討

研究会報告書発表

8. メンバ構成（氏名、所属など）

- ・主査（上記3項）、幹事（上記4項）及び学会員（会員へ参加を呼びかける）
- ・学会員の紹介があった場合には非会員の参加を可とする

以上